

すこやか通信 ～性に関する指導だより～

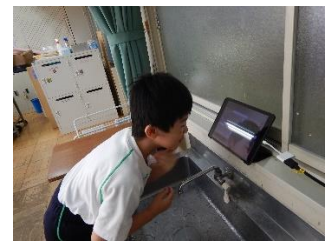
香川東部支援学校 令和7年2月3日発行

本校では、年間を通して児童生徒の発達段階に応じた性に関する学習を行っています。すこやか通信では、各部の学習の様子を保護者の皆様にお知らせします。ご家庭で一緒に考える際の参考にしてください。

小学部

1年「体をきれいにしよう～顔を洗おう～」

給食を食べた後は口の周りを中心に顔が汚れていることが多く、給食後に撮影した自分の顔写真を見てから顔を洗う練習をしました。洗う前に、口の周りや頬にソースを付け、洗い場に設置したタブレットの画面を鏡の代わりにして汚れを確認しながら洗うことができました。タブレットは動画撮影状態にしてテレビにつなぐことで、他の児童は洗う様子をテレビ画面で興味深く見ることができました。



2年「体を洗おう」

冬でもたくさんの汗をかき、気付かないうちにいろいろな細菌やウイルスが体にくっついていきます。そのため、体をきれいにして元気に過ごすために体を洗う練習をしました。最初は体のパズルを通して、体の部位の場所や名称の確認をし、次に「腕、お腹、足、背中、お尻」の順番で体を洗う練習をしました。指導者の手本や手順表を見ながら体を洗ったり、その様子を撮影した動画を見たりして、洗うことへの意欲が見られていました。



3年「男の子女の子」

男の子と女の子の体の違いについて学習しました。「だいじだいじどこだ？」の絵本を使って、体の特別大事なところや、見せたり触らせたりしないことの大切さを知りました。また、成長過程で毛が生えることも知り、指導者のひげを触って確認しました。学習後は、トイレや着替えの際に、カーテンをきちんと閉めたり、同じ場所で着替えている友達の様子も意識してカーテンを開けたりする姿が見られるようになりました。



4年「すてきなぼくたちわたしたち」

感染症がはやり出す時期ということもあり、日常的に行っている手洗いやうがいについて学習に取り組みました。手洗い場所に提示している手洗いの手順表を順番に確認しながら丁寧に手洗いをする児童や毎日取り組むことでうがいができるようになった児童がいます。併せて保健室でも手洗いやうがいの正しいやり方を教わることで、より意識して手洗いをする事が定着してきています。



5年「男の子と女の子」

高学年になり、体も心も大きく成長する時期です。大切なことなので、1学期に学習した成長やプライベートゾーンについての内容を振り返り、電子黒板を使って〇×クイズを通して約束や気を付けることを確認しました。学習の最後にはワークシートで内容の理解を深めました。日常生活場面で定着するよう、その都度イラストを示したり言葉掛けを続けたりしていきたいと思います。



6年「男の子と女の子のきより」

高学年になり友達との関わりが増えてきた一方で、つつい距離が近くなりすぎることがあるため、適切な距離のとり方について学びました。一人ずつ前に出て、会話するときは片手を伸ばした分の距離を保つことや、空いた電車の中では、隣の人と間をあけて座ることなどをロールプレイで確認することができました。〇×クイズは正解できる児童がたくさんいました。日常生活でも正しく行動できるよう見守っていききたいと思います。

